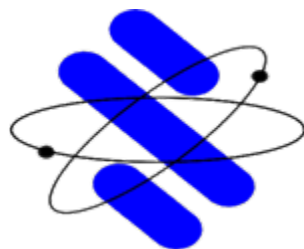


◆平成24年3月期 第2四半期累計期間

# 業績レビューと見通し



平成23年11月11日

# 目次

## 平成24年3月期 第2四半期累計期間 業績レビュー

1	<a href="#">業績概要</a>	.....	<a href="#">4</a>
2	<a href="#">ポイントレビュー</a>	.....	<a href="#">5</a>
3	<a href="#">経営成績</a>	.....	<a href="#">6</a>
4	<a href="#">業績推移</a>	.....	<a href="#">7</a>
5	<a href="#">事業別業績推移（ソフトウェア開発事業）</a>	.....	<a href="#">8</a>
6	<a href="#">事業別業績推移（入力データ作成事業）</a>	.....	<a href="#">9</a>
7	<a href="#">事業別業績推移（受託計算事業）</a>	.....	<a href="#">10</a>
8	<a href="#">業種別売上比率（全社）</a>	.....	<a href="#">11</a>
9	<a href="#">貸借対照表</a>	.....	<a href="#">12</a>

## 平成24年3月期の見通し

10	<a href="#">経営環境</a>	.....	<a href="#">14</a>
11	<a href="#">平成24年3月期 第3・第4四半期の展望</a>	.....	<a href="#">15</a>
12	<a href="#">平成24年3月期業績見通し</a>	.....	<a href="#">16</a>
13	<a href="#">売上高推移見通し</a>	.....	<a href="#">17</a>

平成24年3月期 第2四半期累計期間

---

# 業績レビュー

## 1. 業績概要（平成24年3月期 第2四半期累計期間）

### 売上高

1,874百万円

(前年同期：1,872百万円)

### 経常利益

57百万円

(前年同期：45百万円)

### 四半期純利益

27百万円

(前年同期：28百万円)

### 経営環境

わが国経済は、東日本大震災及び原子力発電所の事故の影響による生産活動の停滞に加え、米国の景気低迷、欧州の財政危機を背景にした円高基調が続くなど、先行き不透明な状況で推移しました。

### 情報サービス産業界の動向

売上高前年同月比は、6月に前年並みとなったほかはデータベースサービスなどの一部を除き、ほぼマイナスで推移しました。  
(経済産業省・特定サービス産業動態統計)

### 当社の施策・・・

顧客のニーズに柔軟に応えるべく、重点顧客への要員シフトを強化するとともに、エンドユーザーの新規開拓に向けた組織横断的なプロジェクトを編成し、売上拡大を目指してまいりました。また、開発要員の稼働率向上によるアイドルコスト低減を図るとともに、プロジェクトマネジメント部門による品質管理・採算管理を強化し、プロジェクト当たりのコスト削減に努めてまいりました。

## 2. ポイントレビュー

### ■組織改正・・・事業戦略推進室の設立

平成23年4月1日付けで、ソリューションサービス事業本部内に設置されていた事業推進室を発展的に解消し、代表取締役直属の事業戦略推進室として再編成いたしました。PMO、企画部、人材開発グループの3部門で構成されております。

### <各部門の役割・実績>

- ◆PMO…プロジェクトの状況把握と事故防止に努め、当社経営理念である顧客満足度向上の追求を原点とした品質強化を徹底。
- ◆企画部…旧事業推進室の業務を引き継ぎ、情報(計数)管理、新事業企画(ビジネススキームの変革)、代表取締役特命事項を遂行。
- ◆人材開発G…新入社員教育、人材育成等の社員教育全般を専任で担当し、市場ニーズにマッチした戦略的育成を促進。

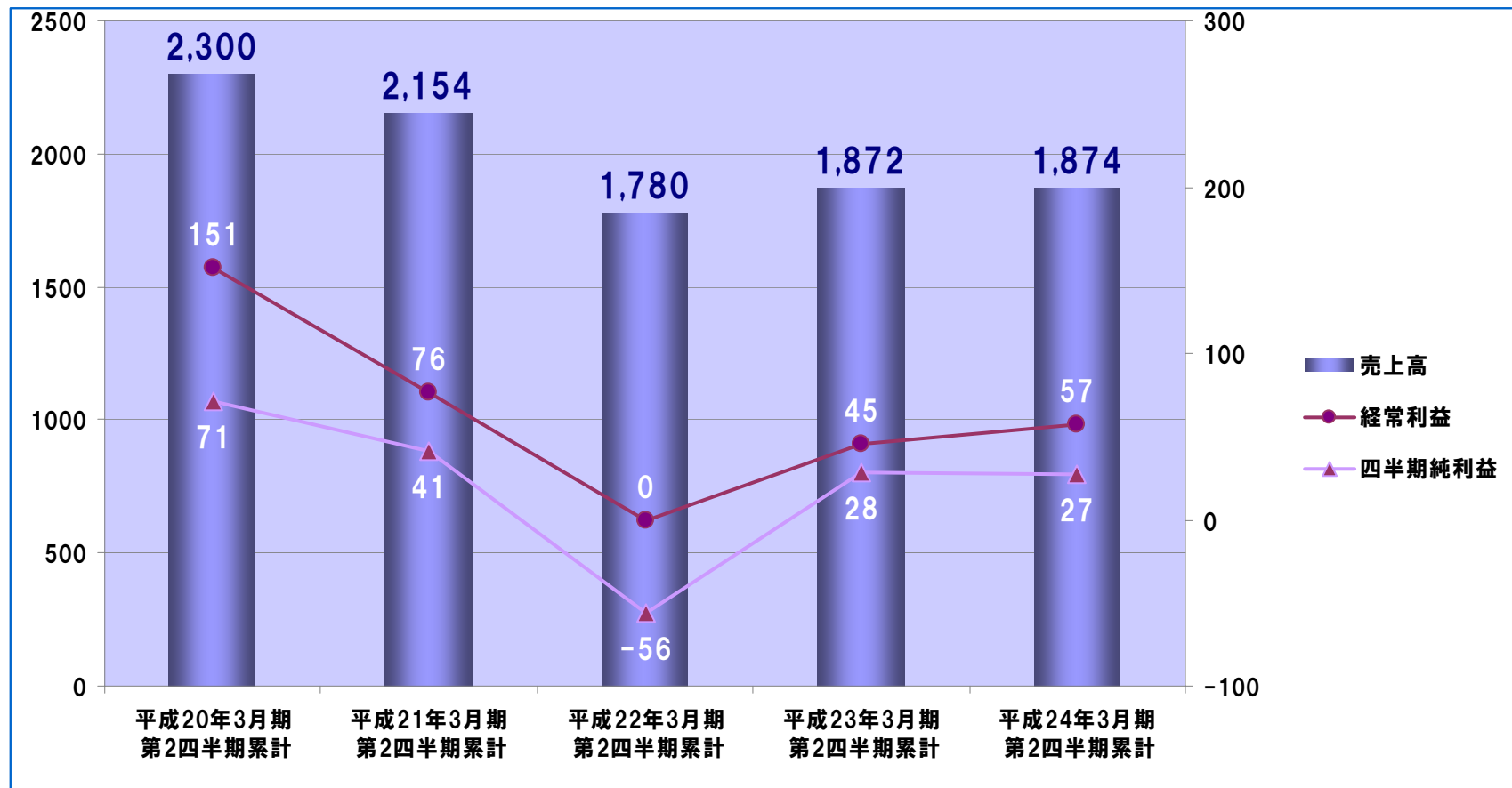
### 3. 経営成績

(単位：百万円)

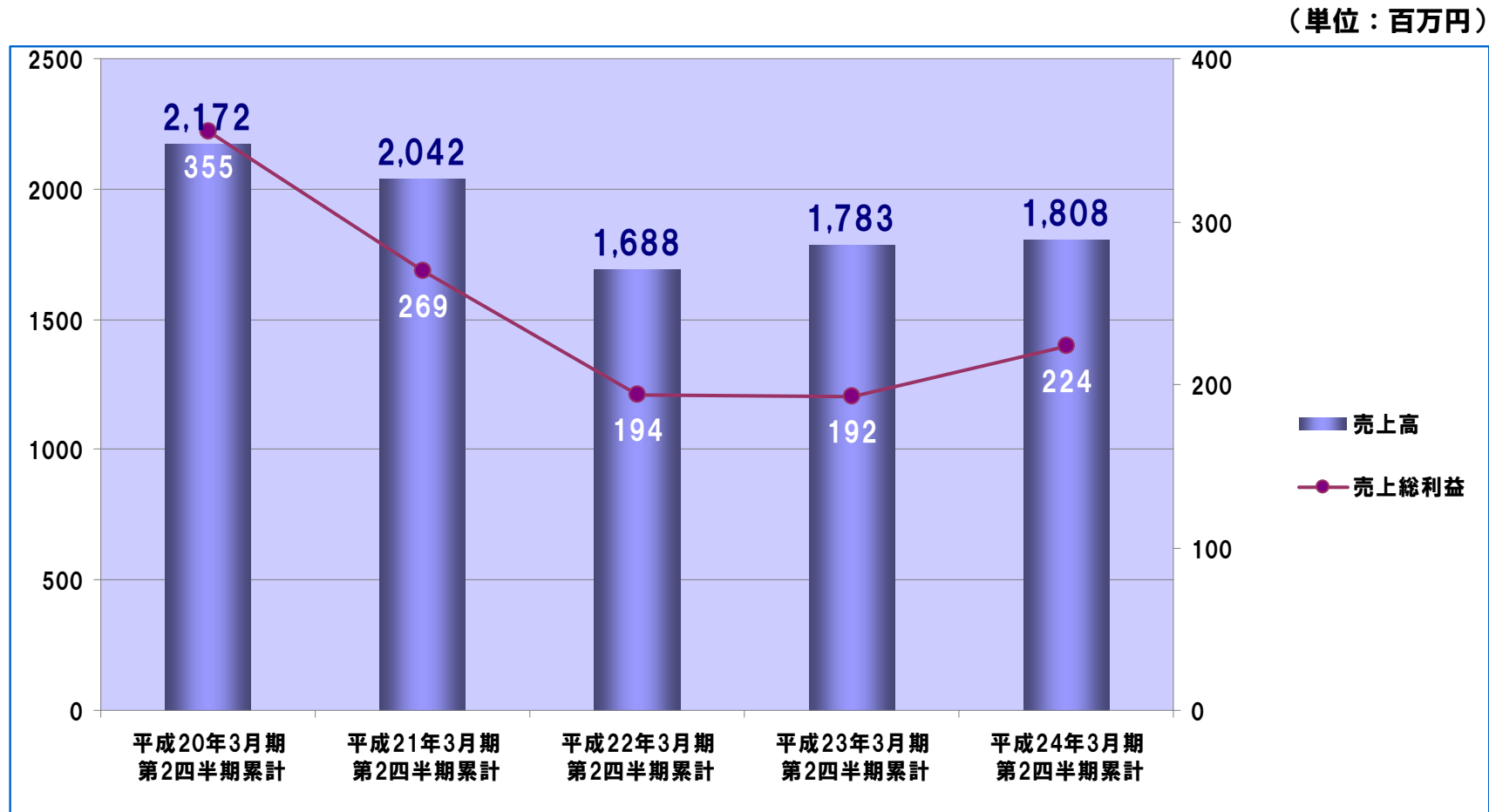
	平成24年3月期 第2四半期累計	平成23年3月期 第2四半期累計	前期差額	増減率
売上高	1,874	1,872	2	0.1%
売上総利益	226	196	30	15.7%
総利益率	12.1%	10.5%	—	
販管費	179	168	11	6.7%
営業利益	47	27	20	69.4%
経常利益	57	45	12	26.5%
特別利益	—	9	△9	—
特別損失	2	—	2	—
税引前利益	54	54	0	0.6%
法人税等	26	26	0	2.8%
純利益	27	28	△1	△1.4%

## 4. 業績推移

(単位：百万円)



## 5. 事業別業績推移（ソフトウェア開発事業）

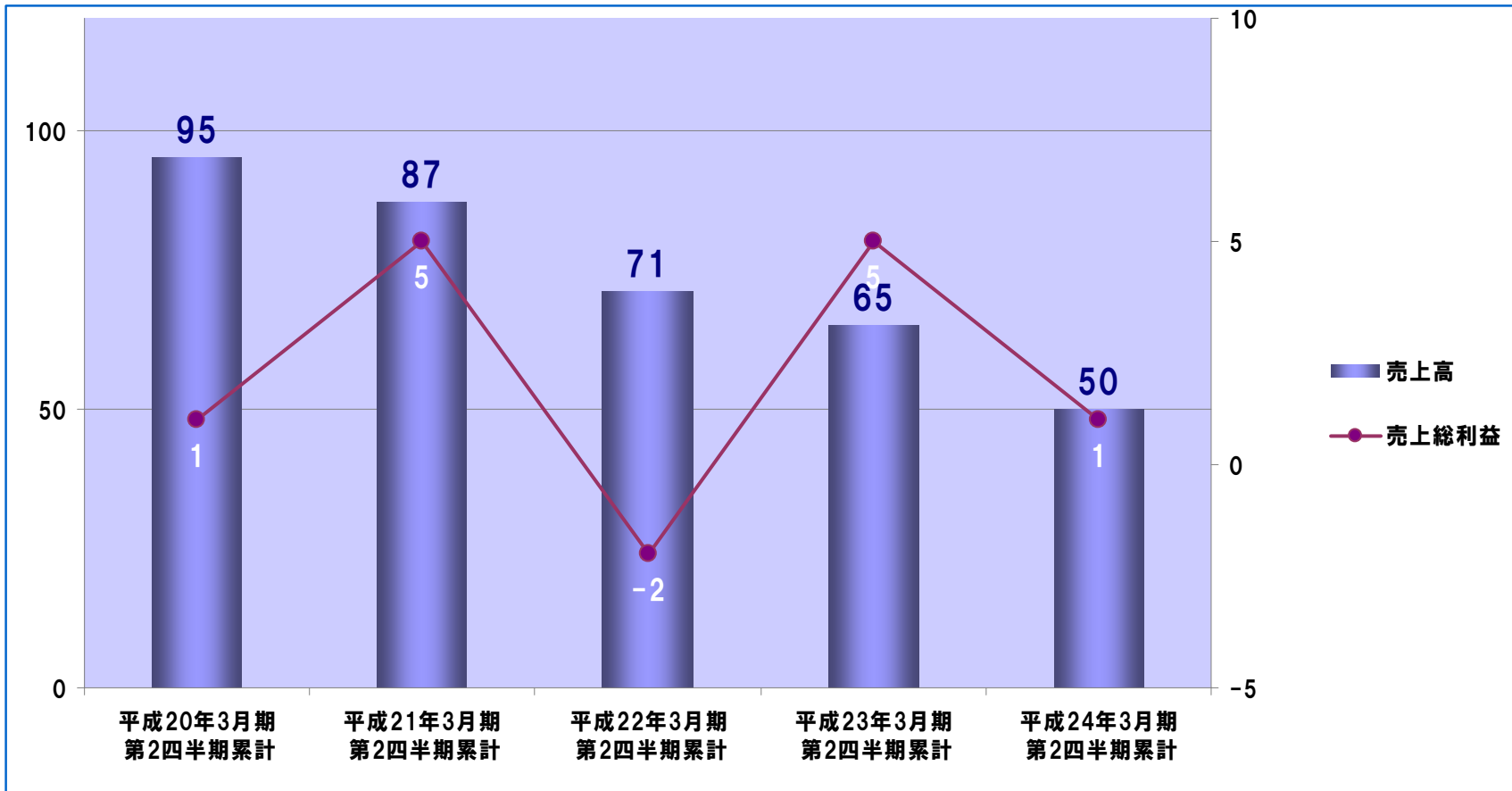


依然としてIT関連投資への抑制姿勢が続いており、おおむね横ばいのまま推移しました。



## 6. 事業別業績推移（入力データ作成事業）

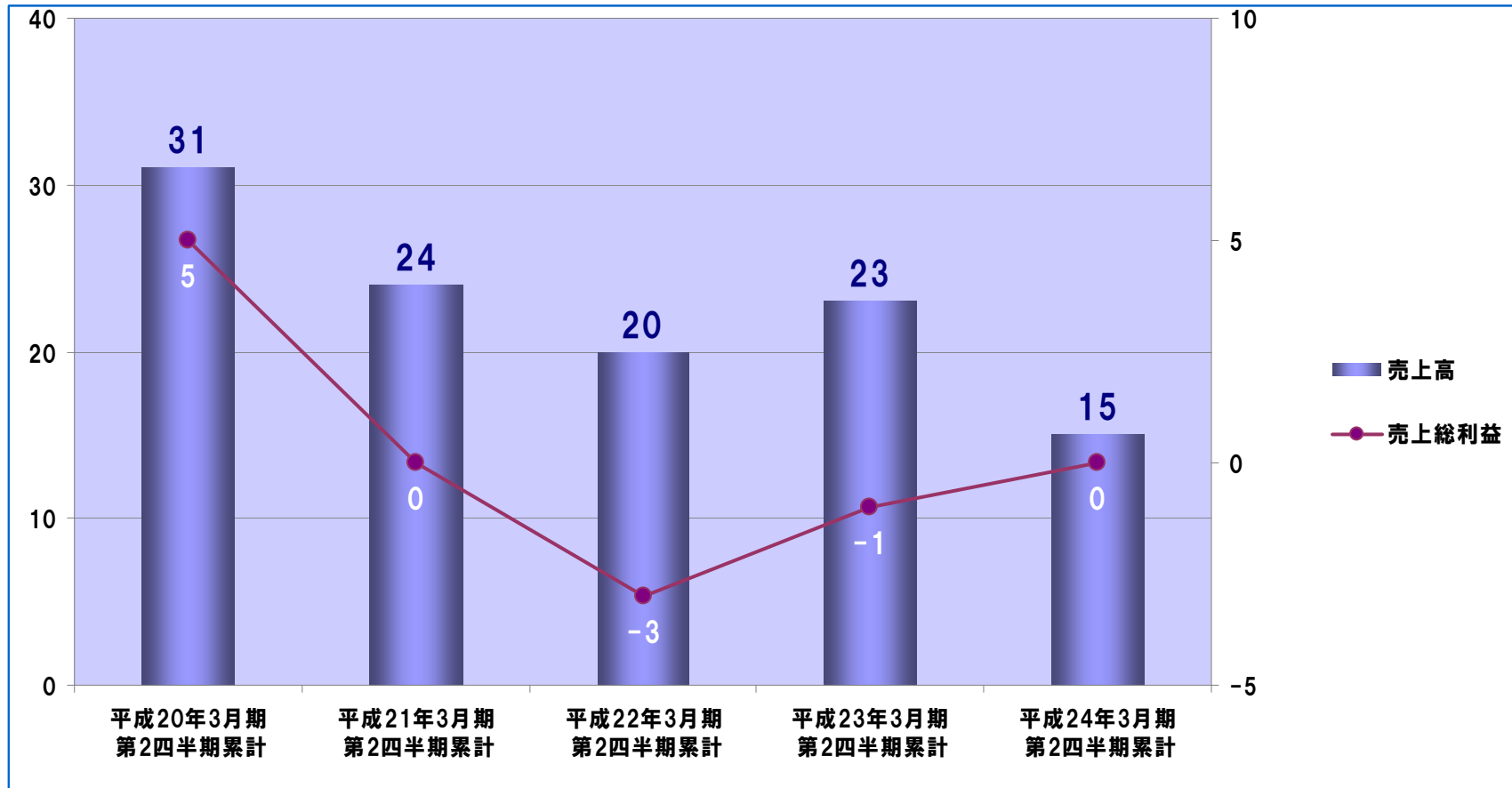
（単位：百万円）



市場規模の漸減傾向は変わらず、コストを抑えることで利益を確保しました。

## 7. 事業別業績推移（受託計算事業）

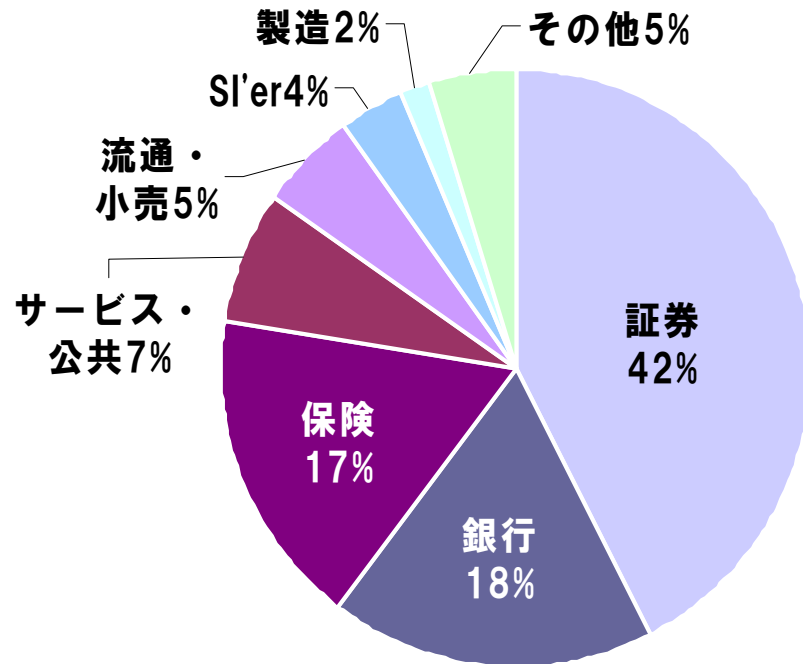
（単位：百万円）



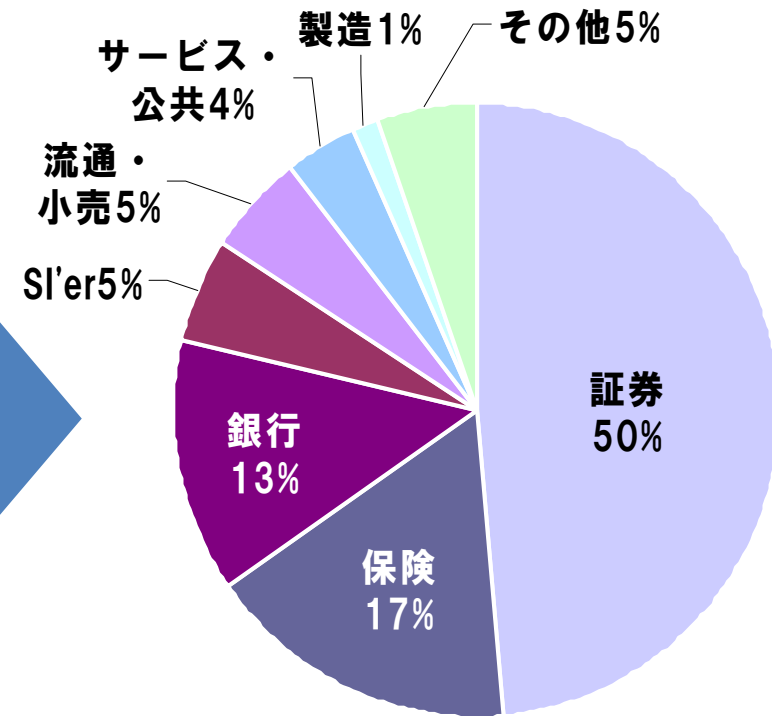
スポット受注はあるものの、主要顧客の内製化が進み、案件数が大幅に減少しました。

## 8. 業種別売上比率（全社）

平成23年3月期  
第2四半期累計  
（ご参考）



平成24年3月期  
第2四半期累計



重点マーケットとして位置付けた証券分野の売上が拡大しました。

## 9. 貸借対照表

平成23年3月期  
第2四半期末  
(平成22年9月30日)

(単位：百万円)

資産の部	流動資産	負債合計 1,817	流動負債 474	負債・純資産の部
	固定資産		固定負債 1,343	
	3,984	純資産合計 2,166	3,984	
	2,973			
	1,010			

平成24年3月期  
第2四半期末  
(平成23年9月30日)

(単位：百万円)

資産の部	流動資産	負債合計 1,859	流動負債 452	負債・純資産の部
	固定資産		固定負債 1,406	
	4,044	純資産合計 2,185	4,044	
	3,022			
	1,022			

流動比率  
自己資本比率

626.6%  
54.4%

667.3%  
54.0%

# 平成24年3月期業績見通し

---

## 10. 経営環境（平成24年3月期）

- わが国経済は、震災で寸断されたサプライチェーンの復旧により生産活動が回復し、持ち直しに転じました。ただ下期に向け、復興需要の顕在化が期待されるものの、円高や海外経済の減速による輸出の伸び悩みから景気の下振れリスクは排除できません。
- 情報サービス産業の売上高前年同月比は、7・8月と2か月連続でマイナス推移しており、クラウド化や災害対策といったけん引案件はあるものの、先行きは不透明なままです。
- 顧客企業のIT関連投資については、一部に案件の動きが見え始めているものの、おおむね横ばいのまま推移しています。

## 1 1. 平成24年3月期 第3・第4四半期の展望

対処すべき課題	施策
<p>☞ 売上拡大とコスト削減</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重点顧客への要員強化</li> <li>・ エンドユーザーの新規開拓</li> <li>・ 稼働率向上と採算管理によるコスト削減</li> </ul>
<p>☞ プロジェクトの品質強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PMOによる大規模システム開発の監視</li> <li>・ プロジェクトマネジメントレビューによる事故防止</li> <li>・ プロジェクト運営の標準化</li> </ul>
<p>☞ 技術者の確保と人材育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦略的教育による一歩先を見据えた人材育成</li> <li>・ プロジェクトマネージャー、リーダーの育成</li> <li>・ ヒューマンスキルに重きを置いた新メニューの開始</li> </ul>
<p>☞ 内部統制の定着と効率化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続的な見直しと改善</li> <li>・ 管理業務の効率化</li> <li>・ 監査法人による助言、指導</li> </ul>

※「RE・START5（スローガン）」2年目として再認識し、計画目標の達成を目指します。

## 12. 平成24年3月期業績見通し

	平成23年3月期（実績）		平成24年3月期（見通し）		
	金額：百万円	前年同期比 増減率	金額：百万円	前期差額	前年同期比 増減率
売上高	3,831	5.1%	3,900	69	1.8%
営業利益	92	18.0%	100	8	7.9%
経常利益	121	43.8%	115	△6	△5.7%
当期純利益	67	—	58	△9	△13.6%
1株当たり 当期純利益（円）	13.96		12.07	△1.89	

厳しい経営環境の中、重点顧客への要員強化、エンドユーザーの新規開拓などにより売上拡大を目指すとともに、利益面では、稼働率向上によるアイドルコスト低減、採算管理によるプロジェクトの採算悪化防止など、全社的なコスト削減に努めており、前年度並みの収益を見込んでおります。

（注）本資料における業績の見通しは、当社が現時点で入手可能な情報による判断及び判定に基づき算定しております。

従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の売上高及び利益は当該予想数値と異なる場合があることをご承知おきください。



# 1 3. 売上高四半期推移見通し

(単位：百万円)

